

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成25年09月30日)

事業コード	H25-建-継-08		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	2次改築(現道拡幅)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道107号		担当課長名	柴田 公博
箇所名	由利本荘市鶴舞～松街道		担当者名	齋藤 篤
総合計画との関連	政策コード	10	政 策 名	交通基盤の整備
	施策コード	02	施 策 名	地域間交流・連携を支える交通ネットワークの整備
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県管理国道の整備推進

1. 事業の概要

事業期間	H11 ~ H31 (21年)		総事業費	110.0億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長L=2,000m、幅員W=13.0(25.0)m (4.5+0.5+6.5+2.0+6.5+0.5+4.5)						
事業の立案に至る背景	<p>本路線は、岩手県大船渡市を起点として北上市、秋田県横手市を経て由利本荘市に至る延長198kmの幹線道路であり、日本海側と太平洋側を結ぶ産業、経済の交流に重要な役割を果たしている路線である。</p> <p>当該区間のH17年度現況交通量は17,269台/日で、混雑度は1.89と高く、旅行速度については20.4km/hと低いため、渋滞対策区間となっている。また、H19年9月17日に近隣に日本海沿岸東北自動車道「本荘IC」が開通し、本荘市街地と高速交通拠点の更なるアクセス強化が図られる。</p>						
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活性化(混雑度1.89の解消) ・ 物流の効率化の支援(本荘IC) ・ 日本海沿岸東北自動車道「本荘IC」へのアクセス強化 ・ 安全な生活環境の確保 						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	11,000,000	11,000,000	0			
	経費内訳	工事費	3,286,145	3,286,145	0		
		用補費	6,851,950	6,851,950	0		
		その他	861,905	861,905	0		
	財源内訳	国庫補助	5,500,000	7,700,000	2,200,000		
		県 債	2,200,000	2,970,000	770,000		
その他		0	0	0			
一般財源	3,300,000	330,000	-2,970,000				
事業内容					国の制度改正により補助率が変更となった。		
事業の進捗状況	平成24年度末で事業進捗率58%である(用地進捗率65%)。						
事業推進上の課題	特になし。						
関連する計画等	ふるさと秋田元気創造プラン「地域医療などを支える救急ネットワークの整備」						
情勢の変化及び長期継続の理由	平成24年10月 日本海沿岸東北自動車道 仁賀保IC～金浦IC間供用開始。						
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	県管理国道改良率					
	指 標 式	改良済延長/路線実延長					
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無			
	目 標 値 a	93 %	データ等の出典	道路課調べ			
	実 績 値 b	93 %					
達成率 b/a	100.0 %	把握の時期	平成25年4月				

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次緊急輸送道路であり、他に競合する路線が存在しない。 ・当事業区間は通学路指定区域であるが、事故率127件/億台kmと高くなっているため早急な改良が必要である。また、混雑度1.89を解消するためにも改良が必要である。 	10点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽橋 (J R 卸門跨線橋) の架け替え有り。 ・市町村合併支援道路としての機能を有する。 	15点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路の指定路線であり、災害や緊急医療施設のアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画上の重要路線である。 	28点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の費用便益は1.3である。 総費用の現在価値 120億円 総便益の現在価値 157億円 ・計画交通量は16,400台/日 (H42) となっている。 	20点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は計画通り進捗しており、平成25年度末で事業進捗率63%に達する見込みである (用地進捗率66%) 。 	16点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 優先度は高く、事業は引き続き実施するべきである。	89点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
 適用基準名 道路改築事業（地域間交流・連携促進）《2次改築事業》

事業コード (H25-建-継-08)
 箇所名 (由利本荘市鶴舞～松街道)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥所数	3箇所以上	8	0	
		・車道幅員<5.5m	2箇所	5		
		・最小半径<100m	1箇所	3		
		・最急勾配>5%	0箇所			
		・冬期堆雪巾なし	※2次改築事業のため評価なし	0		
		道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	15		
		・現道の混雑度≥1.0	4件該当	12		
		・現道の旅行速度≤30km/h	3件該当	10		
		・現道の事故率≥50件	2件該当	8		
		・通学路指定で歩道なし	1件該当	4		
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0				
	計		15	10		
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無			5	
		・県の主要プロジェクト	あり	5		
		・地域振興プロジェクト				
		・ほ場整備等の他事業	なし	0		
		市町村合併支援道路	位置づけあり	5		
			位置づけなし	0		
特有の課題の有無	あり	5	5			
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0				
	計		15	15		
有効性	道路の位置づけ	緊急輸送路	第1次輸送路	10	8	
		第2次輸送路	8			
		第3次輸送路	6			
		指定なし	0			
		県内90分交通体系、全国1日交通圏等に関連	あり	10		
			なし	0		
		社会変化による事業の必要性	必要性が高い	10		
			低下傾向	6		
	必要性が低い	3				
	計		30	28		
効率性	事業の投資効果等	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
			1.0未満	0		
		計画交通量	5,000台/日以上	5		
			1,000台/日以上～5,000台/日未満	3		
			1,000台/日未満	0		
		コスト縮減	あり	5		
			なし	0		
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5			
	既投資額の部分的損失	4				
	既投資額の損失が少ない	3				
	計		20	20		
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗	8割以上完了	10	8	
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
		用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10		
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
	未着手	0				
	計		20	16		
合計				100	89	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		